

問15で1～11と回答した方（有職の方）に、おたずねします

問16 あなたが働いている理由はつぎのうちどれですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 生計を維持するため
2. 家計を補助するため
3. 住宅ローンなど借金返済のため
4. 子の教育資金を得るため
5. 将来に備えての貯蓄のため
6. 自分で自由に使えるお金を得るため
7. 生きがいを得るため
8. 自分の能力や資格を活かすため
9. 視野を広げたり、友人を得たりするため
10. 社会に貢献するため
11. 仕事が好きであるため
12. 働くことは当然であるため
13. 時間的に余裕があるため
14. 家業であるため
15. その他 [具体的に:]
16. わからない

問17 あなたが現在の仕事上で悩みがあるとしたら、それはどのような点ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 労働時間が長い | 8. 後継者がいない |
| 2. 賃金・諸手当が少ない | 9. 責任ある仕事をまかされていない |
| 3. 休暇・休日が取りにくい | 10. 仕事とプライベートの区別がない |
| 4. 昇進・昇格が期待できない | 11. 仕事がつまらない |
| 5. 能力が正當に評価されていない | 12. 教育訓練を受ける機会がない |
| 6. 性別による差別がある | 13. 性的指向・性自認による悩みがある |
| 7. 人間関係がむずかしい | 14. その他 [具体的に:] |
| | 15. とくに悩みや不満はない |

問15で5～9（企業・団体に雇用されている方）と回答した方に、おたずねします

問18 あなたの働き方はつぎのうちどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 正社員・正職員
 2. パートタイム
 3. アルバイト
 4. 派遣・契約社員
 5. その他 [具体的に:]
- (2～4の方)
付問へお進みください

付問 問18で2～4に回答した方におたずねします。
パートタイム、アルバイト、派遣・契約社員で働いている理由は何ですか。
あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 仕事の内容が容易であるから
2. 正社員になると税や社会保険料の負担が増えるから
3. フルタイムの形を望んでいないから
4. 資格や技能を活かせるから
5. 採用に年齢制限があり、今の形態しか選べないから
6. 正社員として働く場がないため
7. 育児・介護・子育てなどのため
8. 子どもの教育のため
9. 趣味・ボランティアなどとの両立のため
10. その他 [具体的に: _____]

問19 将来、あなたは管理職以上に昇進したいと思っていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 思っている _____ (1、2の方)
2. 現在、管理職以上である _____ → 付問へお進みください
3. 思っていない
4. わからない

付問 問19で1または2と回答した方におたずねします。
管理職以上に昇進したいと思っている理由、管理職以上に昇進した理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. やりがいのある仕事ができるから
2. 自分自身で決められる事柄が多くなるから
3. 能力を認められたいから
4. 家族から評価されるから
5. 賃金が上がるから
6. その他 [具体的に: _____]
7. わからない

問20 あなたの職場では、つぎのような性別による差別がありますか。
思いあたるものの番号にいくつでも○をつけてください。

1. 男女で募集や採用で差別がある
2. 男女で賃金・昇給の面で差別がある
3. 男女で昇進・昇格の機会に差別がある
4. 女性の仕事は補助的業務や雑務が多い
5. 男女で入社時研修や業務研修などの機会に差別がある
6. 女性には結婚退職や出産退職の慣習がある
7. 女性の定年が男性より早い
8. 性的指向・性自認による差別がある
9. その他 [具体的に: _____]
10. とくに男女の差別はない
11. とくに性的指向・性自認による差別はない
12. わからない

問21 働く男女が生活も仕事も両立できるよう支援するため「改正育児・介護休業法」が施行されています。「育児・介護休業制度」は男女ともに取得できる制度です。
 あなたはこの制度を知っていますか。また利用したことがありますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業・介護休業それぞれについてお答えください。	1	2	3					
	知っており、利用したことがある	知っているが利用したことはない	はじめて聞いた					
	(1) 育児休業 →	1	2	3				
	(2) 介護休業 →	1	2	3				

2、3と回答した方へ 利用意向をおきかせください。 (1つに○)				
1	2	3	4	
利用するつもりである	利用するつもりはない	利用する必要性がない	利用したいが利用できない	
1	2	3	4	
1	2	3	4	

4と回答した方へ 利用できない理由は何ですか。 (1つに○)				
1	2	3	4	
自分の仕事が多忙になる	職場で利用しにくい雰囲気がある	業務評価に影響する	「具体的に…」	その他
1	2	3	4	4
1	2	3	4	4

問15で12~14と回答した方（無職の方）に、おたずねします

問22 あなたは、これから働きたい（収入を伴う仕事をしたい）と思いますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- (1、2の方)
1. 働きたいので、求職活動をしている → 付問へお進みください
2. 働きたいが、求職活動はしていない → 付問へお進みください
3. 働きたくない
4. わからない

付問 問22で1または2と回答した方におたずねします。
 どのような形で働くことを希望していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 正社員や正職員としてフルタイムの形で働きたい
2. パートタイムやアルバイトで自分の好きな時間に働きたい
3. 派遣社員や契約社員として働きたい
4. 自分の店や会社をつくりたい
5. 自分の知識や技能などを使って在宅で働きたい
6. その他 [具体的に: _____]
7. わからない

性の多様性について、おたずねします

問23 あなたは、つぎの言葉や意味を知っていますか。(1)から(9)のそれぞれについて、あてはまる番号1つずつに○をつけてください。

	内容まで 知っている	聞いたことは あるが、詳しく は知らない	知らない
(1) セクシュアル・マイノリティ	1	2	3
(2) LGBT	1	2	3
(3) レズビアン	1	2	3
(4) ゲイ	1	2	3
(5) バイセクシュアル	1	2	3
(6) トランスジェンダー	1	2	3
(7) カミングアウト	1	2	3
(8) アウティング	1	2	3
(9) SOGI	1	2	3

問24 あなたは、身近な人から、「同性が好きである」(同性愛者)や、「自分の性別に違和感を持っている」(トランスジェンダー)などと打ち明けられたとしたら、受け入れられますか。(1)から(5)のそれぞれについて、あてはまる番号1つずつに○をつけてください。

	受け入れられる	受け入れられない	わからない
(1) 親	1	2	3
(2) 兄弟姉妹	1	2	3
(3) 配偶者	1	2	3
(4) 子ども	1	2	3
(5) 友人・知人	1	2	3

問25 あなたは、同性婚についてどう思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 認めるべきだと思う
2. どちらかというと思えるべきだと思う
3. どちらかというと思えるべきではないと思う
4. 認めるべきではないと思う
5. わからない

問26 学校でLGBTやSOGI（性的指向／性自認）など、性の多様性を意識した指導を教員が行うことについてどう思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 積極的に行ったほうがよい
2. どちらかというに行ったほうがよい
3. どちらかというに行わないほうがよい
4. 行わないほうがよい
5. わからない

男女平等・男女共同参画を進める市の施策について、おたずねします

問27 男女平等・男女共同参画を推進する総合的な拠点として京王線聖蹟桜ヶ丘駅前に「TAMA女性センター」が開設されてから20年がたちました。あなたは「TAMA女性センター」のことを知っていますか。また、利用したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用したことがある _____ (1～3の方全員)
2. 知っているが利用したことはない _____ → 付問へお進みください
3. 知らない _____

付問1 あなたはTAMA女性センターの運営にどのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 男性も利用しやすいようにすること
2. 市民が運営に参画すること
3. 専門の民間事業者に運営を委託すること
4. 男女平等・男女共同参画に取り組むグループの活動を積極的に支援すること
5. 学習研修の講座を充実すること
6. 貸し室の利用率をあげること
7. 市民の自主企画を充実すること
8. 女性の職業能力開発・就業・起業などを支援すること
9. 女性の視点にたった相談事業を充実すること
10. 男性を対象にした相談を実施すること
11. 男女平等・男女共同参画に関する情報や図書が入手しやすいこと
12. 男女平等・男女共同参画に取り組むグループの交流の機会を設けること
13. その他 [具体的に: _____]
14. TAMA女性センターのような拠点施設は必要ない
15. とくにない
16. わからない

付問2 あなたは「TAMA女性センター」という名称について、どう思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. このままでよい
2. 変えたほうがよい
3. わからない

付問3 「TAMA女性センター」以外の名称で提案がありましたら、ご自由にお書きください。

問28 「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」では、男女平等参画社会の視点に立った災害に強いまちづくりをすることが定められました。そのために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 防災会議や消防団に女性を増やすこと
2. 女性用品、乳幼児用品など、必要な物資について、十分な量を備蓄すること
3. 倉庫業者、運送業者、スーパー等の事業者などと協定を締結し、災害発生時に速やかに調達・輸送できるようにすること
4. 男女共同参画の視点からの災害対応について、学習機会を増やすこと
5. 自主防災組織における女性の参画を促進すること
6. 女性リーダーの育成を図ること
7. TAMA女性センターの拠点機能を強化すること
8. その他 [具体的に: _____]
9. とくにない
10. わからない

問29 これから多摩市が推進する男女平等・男女共同参画施策のうち、どのようなことに力を入れていったらよいと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 学校における男女平等・男女共同参画教育の推進
2. 女性の社会参画を支援する取組みの充実
3. ドメスティック・バイオレンス（DV）やセクシュアル・ハラスメント、ストーカーなど暴力をなくすための取組み
4. 男性に対する意識啓発
5. 福祉、健康、労働などの相談事業の充実
6. 男女ともに働きやすい環境の整備
7. 委員会・審議会などへの女性の積極的な登用
8. 地域活動やボランティア活動の促進
9. 保育・高齢者問題などの福祉の充実
10. 性の多様性についての意識啓発
11. 男女平等・男女共同参画の視点による災害対策の充実
12. 都や国との連携強化
13. 「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」の周知
14. その他 [具体的に: _____]
15. とくにない
16. わからない

男女平等・男女共同参画についてのご意見について、おたずねします

問30 あなたが日頃、家庭や教育、職場などで男女平等・男女共同参画について感じていること、多摩市の男女平等・男女共同参画施策について望むことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

「男女平等・男女共同参画社会」とは・・・

男女が社会の対等な構成員として、自らの意思であらゆる分野の活動に参画する事ができ、ともに責任を分かち合うことができる社会のことをいいます。

「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」

多摩市では、平成26年1月1日に、「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」を施行しました。

この条例は、市・市民・事業者が一体となって、すべての人が住みやすく暮らしやすい男女平等・男女共同参画社会を実現することを目的としています。

詳細は市HP又は平和・人権課にある条例解説パンフレットをご覧ください。

最後に、あなたのことについて、おたずねします

F1 あなたの自認している性別はつぎのうちどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 女性 2. 男性 3. その他

F2 あなたの年齢はつぎのうちどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. 18～19歳 | 6. 40～44歳 | 11. 65～69歳 |
| 2. 20～24歳 | 7. 45～49歳 | 12. 70～74歳 |
| 3. 25～29歳 | 8. 50～54歳 | 13. 75歳以上 |
| 4. 30～34歳 | 9. 55～59歳 | |
| 5. 35～39歳 | 10. 60～64歳 | |

F 3 あなたの家族構成(同居)はつぎのうちどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 一人暮らし
2. 夫婦のみの一世代同居(事実婚を含む)
3. 二世帯・三世帯同居(親と子ども、親と子ども夫婦、親と子ども夫婦と孫など)
4. その他

F 4 あなたは現在、結婚(事実婚含む)をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. している—————▶付問へお進みください
2. していない

付問 F 4で1「している」と回答した方におたずねします。

あなた方ご夫婦の働き方はつぎのうちどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 夫(妻)だけが働いている
2. 共働きである
3. その他

F 5 あなたにお子さん(別居含む)はいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる—————▶付問へお進みください
2. いない

付問 F 5で1「いる」と回答した方におたずねします。

一番下のおさんの年代はつぎのうちどれにあたりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 1歳未満 | 5. 小学校4～6年 |
| 2. 1～3歳未満 | 6. 中学生 |
| 3. 3歳以上の未就学児 | 7. 高校生以上(社会人を含む) |
| 4. 小学校1～3年 | |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)にて

令和2年1月28日(火)までにご投函ください。

<問合せ> 〒206-0011 多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニネ7階

多摩市くらしと文化部平和・人権課(平日午前9時から午後5時まで)

電話 042-355-2110 FAX 042-339-0491